

「広島神楽」定期公演へようこそ!

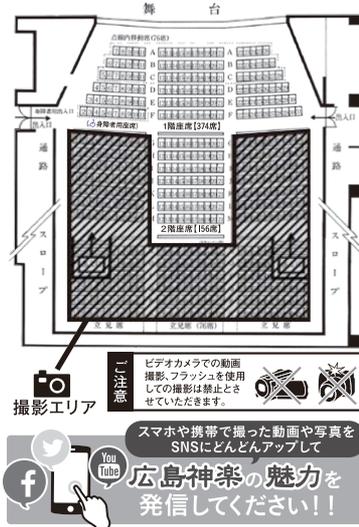
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いします。



6月14日のタイムスケジュール

出演：今田神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『山姥』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『葛城山』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念には是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いまだかくらだん

今田神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

今田神楽団は広島県山県郡北広島町今田地区に現存する、今田八幡神社及び後有田新宮神社に神楽を奉納するため、明治中期より結成し、活動が始まったと言われていいます。

現在、10代から50代までの団員15名で構成し、伝統の舞を大切に継承するとともに、新しい舞を創造し、楽しくそして厳しく、年間を通じて練習に励んでいます。年間およそ20回程度、イベントや秋祭り等で上演にお客様に大変ご好評をいただいております。

第一幕『山姥』(やまうば)

越後の国・上路(あげろ)の山に、山賊退治という勅命を受けた源頼光と渡辺綱(わたなべのつな)は迷い込みます。山中のただ一つの灯を見つけ、一夜の宿を願います。しかしこの家に暮らす母と子は、都を追われ世を呪い、人々を恨み、上路の山の山賊となって悪行を重ねる山姥とその子・怪童丸(かいどうまる)でした。

山姥と怪童丸は、武勇の誉れ高き頼光と知らず悪事を企みますが、戦いに敗れ、山姥は怪童丸を見捨てて逃げます。しかし、すぐ立ち戻り我が身の上を明かし、母の一命に替えて怪童丸の命乞いをします。頼光はこの母子の運命を不憫(ふびん)に思い命を助け、怪童丸を家来として都へ連れ帰るとい物語です。怪童丸は、後に坂田金時(さかたのきんとき)と名乗り、頼光の四天王の一人となります。

【出演】	大太鼓 … 大野 真司	源 頼 光 … 森 廣 洋	山 姥 … 富田 雄太
	小太鼓 … 岡田 真歩	渡 辺 綱 … 香浦 匠汰	怪 童 丸 … 河野 隼人
	手打鉦 … 庭尾 智樹		
	笛 … 岡田 真季		

第二幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 大野 真司	源 頼 光 … 香浦 匠汰	胡 蝶 … 森 廣 洋
	小太鼓 … 岡田 真歩	占部六郎季武 … 上 中 寛輝	土蜘蛛の精魂 … 富田 雄太
	手打鉦 … 河野 隼人	坂田金時 … 山本 諒平	
	笛 … 岡田 真季		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。